

調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
[22] レボフロキサシン	【水質】 水質試料 200mL pH調整 アンモニア水及びギ酸 pH 10 ろ過 親水性PTFEろ紙 H100A047A サロゲート物質添加 レボフロキサシン-d_3 20ng ろ液 ろ紙 洗浄 5mmol/Lギ酸アンモニウム緩衝液 2mL × 2回 固層抽出 Oasis HLB Plus LP 225g 8mL/分 洗浄 精製水 10mL 水分除去 窒素通気 1時間 溶出 メタノール 15mL カラムクリーンアップ Oasis MCX Plus 225g 通水後に水分除去のため窒素を1時間通気 溶出：1mol/Lアンモニアメタノール溶液 10mL 分取 2.5mL 濃縮 窒素ハーフ 50～60℃ 乾固まで 溶解 メタノール 1.0mL LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ (注) サロゲート物質をレボフロキサシン-d_3からレボフロキサシン-d_8に変更した例があった。 「平成30年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠	分析原理：LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ 検出下限値： 【水質】 (ng/L) [22] 0.44 分析条件： 機器 LC：Shimadzu Nexera X2 MS：AB Sciex QTRAP4500 又は LC：Shimadzu Nexera XR MS：Sciex QTRAP 4500QT カラム Lux i-Cellulose-5 EC-C18 150mm×2.0mm、3μm